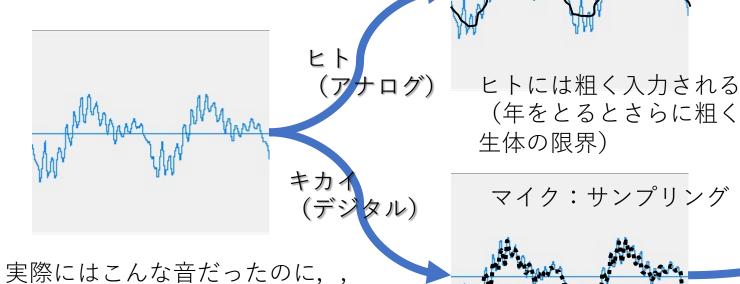
# 音響情報ハイディング演習~大雑把なヒトと真正直なマシン~

薗田光太郎(長崎大)

kotaro@nagasaki-u.ac.jp

- 1. ヒトは大雑把に音を理解している (マシンは真っ正直に音を記録している)
- ヒトは音波を完全には受け取っていない
  - 耳が物理的に無理。難聴になってさらに受け取れない。
  - マイクにも限界があるが、耳よりは受け取れる。
- ヒトは歪んだ音波を歪みがなかったかのように理解する
  - ヒトは知覚的に音波を補償する。
  - マシンは原則的には補償しない。歪んだまま。

#### ヒトの耳と、キカイのマイク



ヒトによる音声認識 (Speech2Text)

月がきれいですね

マイク:サンプリング

(年をとるとさらに粗く

耳

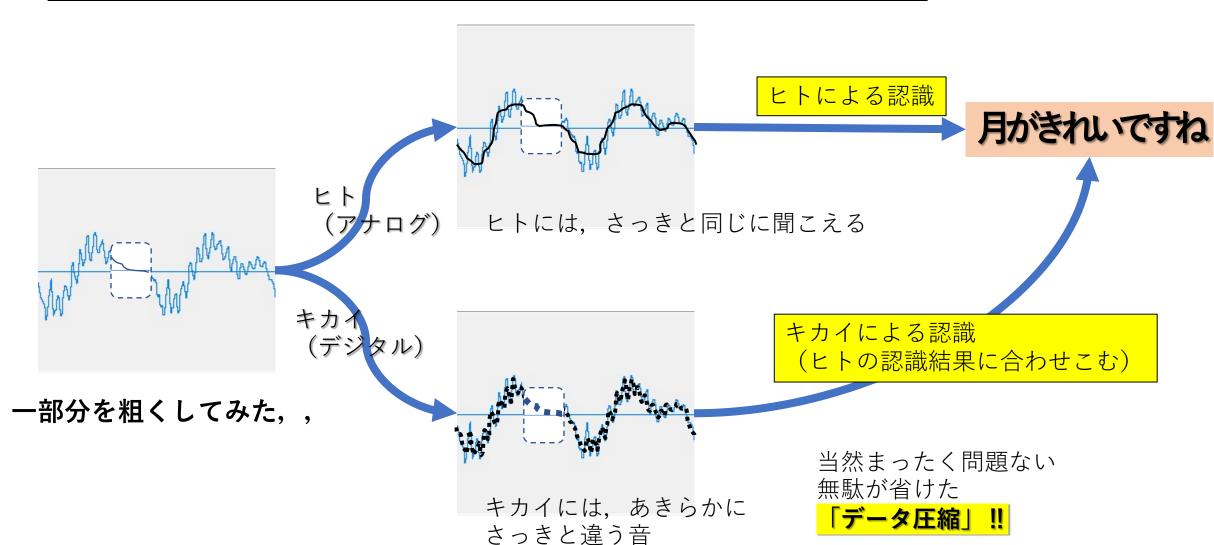
キカイには細かく入力される (ほとんど忠実)

キカイによる認識 (ヒトの認識結果に合わせこむ)

> 話者,感情,情景, …までわかるのに 不要だって…

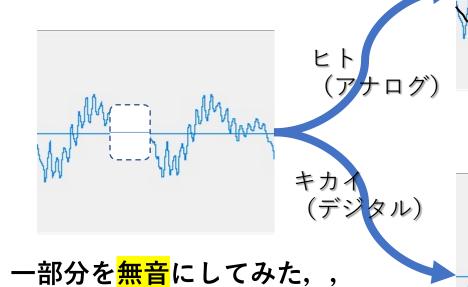
> > キカイ学習!!

### 音を粗くしても状況変わらない?



## (するどころか、いじってもヒトには

気づかれない?



ヒトによる認識

月がきれいですね

ヒトには、さっきと同じに聞こえる (<mark>粗いどころか**音が無いのに**!!</mark>

聴覚補償、錯覚)

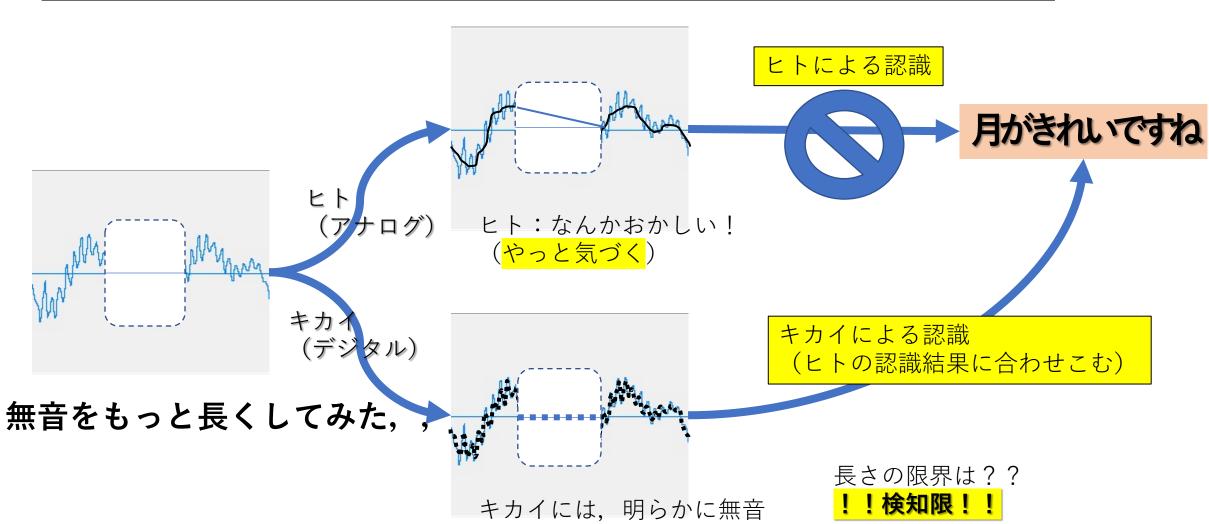
キカイによる認識 (ヒトの認識結果に合わせこむ)

キカイには,明らかに無音

ここは,どういじってもいいってこと?

!!情報ハイディング!!

#### 無音をもっと長くすると、さすがにバレる



#### 工学への応用

- 音信号ファイルの超絶サイズ圧縮(MP3など)
  - マイクで録音した音だとサイズが大きいが、ヒトの聴こえの粗さに合わせて無駄な細かさを省くとサイズが超絶小さくなる(10分の1!)
- 電子透かし:音に別の情報をひそかに隠蔽
  - ヒトに気づかれない程度の波形を別の波形に、別の波形に意味を持たせる
  - 究極の暗号:
    - ↑の「別の波形」が秘密文。
    - ヒト的には普通の音なので、誰も暗号だときづかない。 (普通の暗号は、暗号化すると明らかに怪しい文)

#### 科学研究としての意味

- ヒトの音を聴くしくみの解明
  - 限界はどこか?聴覚補償?を解明
  - 「粗い」「細かい」だけではない錯覚の発見

#### 2. エコーハイディング

- ヒトは、エコーを不自然に感じない。
  - エコーまでの遅れが
    - 長すぎると、不自然
    - 適度に長いと、エコーなしとの違いはわかるが自然
    - 短いと、エコーなしとの違いにも気づかない
- ある遅延τのエコー生成フィルタをひそかにかける。
  - ヒトは気づかないが、マシンには検出できる。
    - 複数のτのフィルタがあれば、テキストを表現できる。(2種類あれば0と1を表せる。)
    - 1曲に16フレームあれば16ビット隠せる。
- 検出は、エコー検出
  - <u>ケプストラム</u>上でτに対応する<u>ケフレンシー</u>における強度が十分に大きいことを判定
  - ※ケプストラムCとは…
    - $Y(\omega) = F[y(t)]$
    - $C(q) = F[logX(\omega)]$
    - y(t)=h(t) \* x(t)だとすると、
      - $Y(\omega) = H(\omega) \cdot X(\omega)$
      - $\log Y(\omega) = \log H + \log X$
    - ケプストラムはスペクトラムY(実際は対数化)を時間波形かのように扱ってフーリエ変換したもの
      - スペクトラムの周期性をとらえている。
      - エコーフィルタが低い周波数 (ケプストラム的にはケフレンシーと呼ぶ) にあらわれる

#### エコーハイディングで暗号化

- やってみよう
- ABCQ2021AIH
  - https://github.com/helmenov/ABCQ2021/release/tag/v08.30.1
    - ABCQ2021AIH.pdf ←このスライド
    - EchoHiding.ipynb ←演習用jupyter notebook
    - wmtest.wav ←テスト用のサンプル楽曲
  - Jupyterや<u>GoogleColab</u>などでEchoHiding.ipynbを開いてください
    - GoogleColabの場合は、左端のファイルタブを選び、wmtest.wavをアップロードしてください。

#### エコーハイディングの問題

- 鍵が推測されてしまう
  - ケプストラムを観察すると、エコー成分が見えてしまう。
  - $\rightarrow$ 鍵である $\tau_0 \tau_1$ の予想がつく
- エコーを減らす処理をされると検出の妨害となる。
- 対策
  - 単発エコーではなく、複数の乱発エコー(多段エコー)にする。
    - →エコー拡散法
    - 遅延τだけでなく、乱数列(PN系列)も鍵に組み入れる。
    - ケプストラムとPN系列との相関の有無で検出